

情報化社会に自立したまちを

町長 泉亭俊孝



私は就任以来、「おはよう町長室」や「町長の手紙」などで、町民皆さんの声を聞くことを大切にしてきました。また、町ホームページの「町長の部屋」に日々の思いを述べ私の考えをお伝えしてきました。さまざまな方々の意見を聞き、より良い町を築くヒントがあったと思います。昨年は、3月に川下小学校が100年の歴史に幕を閉じ、小説「石狩川」を書いた本庄陸男の生誕100年の年でもあり、当別の苦難の歴史を振り返る機会にもなりました。

美しい景観委員会の皆さんは、町民の方々が代々大切に育ててこられた町内の「大きな木」2本と樹種別の大きな木12本を、「町の大きな木」に認定しました。美しいまちづくりを行う上で身近な自然を大切にすることが美しい景観を創っていく第一歩であると感じました。

これらの歴史を感じる出来事の中で、11月には光ケーブルによる超高速インターネットサーブスが開始され、情報化社会に即した通信基盤は、今後のまちづくり施策に必要なものとなるでしょう。

また、町の主要産業である農業においては、農家を組織化した経営体による営農が始まりましたが、これからは「生産・加工・販売」までを一環して行える経営体の育成と、異業種と連携した1.5次産業ともいえる新しい農業経営の形成が急務であると考えます。

町は現在、新たな自立に向けて役場をあげて「行財政システム再構築プラン」の作成に取り組み、町民の皆さんにワークショップやグループインタビューで意見をお聞きしながら素案が出来上がったところです。今後、素案に対する町民の皆さんの意見を伺いながら、スリムで実効性のあるプランを策定していきたいと考えています。

本年も何卒よろしくご協力をお願い申し上げます。

2004年の出来事

大きな木を認定



農業経営体の懇談会



光ケーブル開通イベント

分権時代に即応した町づくり

当別町議会議長 竹田 和雄



平成17年の新年を迎え

おめでとうございます。

町民の皆様には、日頃より議会活動にご支援
ご協力をお寄せ頂いていますことに対しまし
て、心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は国内外におきまして、イラク戦
争を初めとし拉致の問題など解決することな
く年が過ぎ、また、国内においても殺伐とした事件が相次
ぎ、更に台風、地震による被害は膨大なものであり、激動の
1年でありました。

平成16年度を初年度とする「三位一体の改革」は、地方交
付税の大幅な削減、国庫補助負担金の廃止に伴う本格的な税
源移譲の先送りなど、国の財政再建が優先され、地方財政に
大きな打撃を与え、地方分権にほど遠い状況にあります。

したがって、今年には町民の皆様の意見を大切にして、
行政と一体となり、分権時代に即応した町づくりに努力しな
ければならないと思えます。

希望に満ちた新年が皆様にとりまして、幸多い年でありま
すようご祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。